

## ジャック・メールの経歴



ジャック・メールは、外交官としてのキャリアを、パリ（オルセー河岸と首相官邸）とブリュッセルにおいて、ヨーロッパ問題から始めました。フランス国においては、以下のようなさまざまな要職を歴任しました。国土開発環境大臣首席補佐官（1997年～1998年）、雇用連帯省、欧州・国際問題担当代議員（1999年～2002年）、外務省、企業・国際経済局長（2012年～2014年）。危機的状況にある国々、特にサヘル地域と中東諸国の復興と発展のために、大使と特別代表の任を担いました（2017年）。

民間部門では、ジャック・メールは2002年から2012年まで、AXAグループ内でさまざまな要職に従事しました。特にAXAグループの国際開発ディレクターを務め、その後AXAグループハンガリーおよびAXA銀行ハンガリーのマネージングディレクターを務めました（2002～2012年）。また、社会環境評価機関Vigeo-Eirisのディレクター（2015年）、およびスマートグリッドのフランス関連部門について、Cop 21の実施に向けたミッションディレクター（2016年）も務めました。

政治部門では、ジャック・メールは1995年から2008年の間に、ブルターニュ地方においてさまざまな任務に就きました。プラベネックの地方議員、またブレストの地方議員。さらにブレスト都市共同体の副議長、そして地域評議員です。2017年にオー＝ド＝セーヌ県の国民議会議員に選出され、外務委員会の副委員長になり、さらには欧州評議会議員総会のリベラルグループの議長になり、2022年6月まで務めました。

1962年にアンギャン＝レ＝バンに生まれたジャック・メールは、ドーフィンヌ大学での応用経済学の修士号と、国際金融学の高等教育専門研究免状（DESS）を取得し、政治学院を卒業し、国立行政学院では「ジャン・モネ」クラスの卒業生（1990年）でした。

彼はシンクタンク「Confrontations-Europe」の副会長でもあります。